

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成27年度第6回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成27年9月17日(木) 18時30分から19時50分まで			
開催場所	墨田区役所12階 122会議室			
出席者数	【委員13人】 阿久沢委員、宇田川副会長、笠貫委員、小木曾委員、 島崎委員、永岡会長、野島委員、本間委員 森下委員、柳委員、横井委員、吉田委員、渡辺委員 【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	1 すみだ環境の共創プラン進捗状況評価について 2 すみだまつりについて			
配付資料	すみだ環境の共創プラン進捗状況評価資料 すみだまつりアンケート案 施設見学会案			
会議概要	1. 当日の会議内容 (1)すみだ環境の共創プラン進捗状況評価について 現行の環境の共創プランについての進捗状況を報告し、各委員から意見を聴取した。 (2)すみだまつりについて 10月3、4日に実施されるすみだまつりについて、アンケート案の提示とすみだまつり分科会の開催連絡をおこなった。 意見交換における主な意見 すみだ環境の共創プランについて 重点プロジェクト2で行政、事業者、区民の排出割合を載せられたら載せた方がよい。最近では、行政、事業者の割合は減っているが、区民の割合は増えていると思うので、そういった比率を見られるとよい。 普及啓発は環境フェア、すみだまつりのみでよいのか？毎月5日の環境の日に区が何をやっているのかを啓発し、区民にも取り組みをよびかけられるとよい。 堅川に関して、今のままでは暗いので、緑化したりして魅力のある川として活用できたらよい。			

個別目標 1-3 で、区内の景観まちづくり事業について触れられているが、身の回りではたばこのポイ捨てが気になる。区内全域をポイ捨て禁止地区と定めている区もあるので、墨田区もそうした方がよいのではないか。

区民会議を活性化させるためには若い人の意見が重要になると思うので、小中学生や環境工科専門学校など、環境活動を熱心にやっている学生に区民会議へ参加してもらえるとよい。

東京都が23区の河川の調査値を公表していると思うので、それも資料として付けたらよい。

エネルギー使用量は減っているのに、二酸化炭素量は基準値から17%も増えている。評価の仕方を見直した方がよい。

重点プロジェクト3で、墨田区では緑被率の調査は10年に1度程度実施しているようであるが、都市計画法ではおおむね5年に一度としており、その周期で調査している自治体が多い。墨田区ももう少し力を入れた取り組みが必要である。

持ち去り対策については区の問題ではあるが、循環型社会の観点から見たら大きな問題ではない。資源化率の向上について、持ち去りが無くなると資源量が増えるが、同時に総排出量も増えるため、あまり資源化率の向上にはつながらないのではないか。

エコポイント事業、省エネナビ制度は、住民が自身の取り組みに対して実感を得られやすい事業であるため、拡充させられるとよい。

基本計画のワークショップで、墨田区の公園は行きたいところではない、楽しめるところではないという意見が出た。公園の新設は土地がないため難しいが、公園の土を緑にするだけでも子供たちは遊べる場所が増え、公園に行くようになる。区民の方を取り込んでいくような仕組みづくりがあるとよい。また、ネットワークづくりの点では、今後は環境ボランティアを育成するような、連続講座を実施する必要があるのではないか。

緑被率を劇的に増やすことは現状では難しいので、「質の良い緑」を増やしていきたい。環境の分野に限らず、今はトップランナーが居なくなっているという指摘が他の分野でもある。セカンドランナーをどのように育成するかが今後の課題である。

花と緑のサポーターに関して、実際に活動している人数はこの半分くらいである。サポーターが来やすく、活動しやすい環境が整うとよい。

毎月5日が環境の日であるということ意識している区民は多くないと思う。来年度以降は、バッジやシールなどを作り、啓発できるとよい。

公園の新設が無かったのは残念である。花や苗をイベント等で配っているが、ただ貰うこと目的で来られる方が多いように感じる。ただ配るのではなく、もっと有効に活用できる方法があるとよい。

今年は公園の再整備・改修を実施したと聞いている。

二酸化炭素の量が 万tとか言われても、なかなかピンとこない。指数を作ったりして、変化の推移が分かりやすいようにするとよい。

また、先日の栃木の洪水報道を見て、雨水をいかに地中に浸透させるかが重要であると感じた。雨水利用も必要だが、タンクを置いてあるだけでは今度、あのような洪水に対応できないと思う。

環境ボランティアは頑張っているようであるが、緑被率は23区の中でもかなり下の方である。本当にB評価でいいのかと感じた。

墨田区の緑被率が中央区に抜かれ、23区でワーストになることが心配である。安田庭園の植生について、花の咲く木が少ないように感じるので、もうちょっと季節によって変化があるように整備していただくと、来園者が増えるのではないか。

緑を頑張って増やして頂きたい。また、環境講座の多くをふれあい館で実施しているので、無くなったあと、同じように環境教育が続けられるのが心配である。

進捗状況については評価をした後、それを生かして次に何をやるかを考えなければならない。区民、事業者、行政が三位一体となって取り組みを行う必要があるが、それぞれがどのようなことをやっているかが見えないと対策が打てない。できるだけ、区民、事業者、行政の3つに分けて分析することが大事である。

また、区が一生懸命やっている施策が区民に浸透していないように感じる。原因は、行政がやっていることを、区民にうまく露出できていないからではないか。

すみだまつりについて

アンケート内容の確認と、すみだまつり分科会の案内をおこなった。

施設見学会

委員から施設見学会の案を2つ頂き、今年度はどちらかの案で見学会を実施することになった。

時期や日程調査については今後実施する。

3. その他、情報提供等

食育のチラシを配布し、イベントの紹介をおこなった。

所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5462
-------	-----------------------------------